

第7回合同研究発表会

地域特性に応じた
総合型地域スポーツクラブのモデル提案
— 釧路におけるスケートを視点として —



松浦孝則(北海道教育大学 釧路校 内山ゼミ)

tknr.mtur.3210@gmail.com

発表内容

1. 研究の目的と問題の所在
2. 研究の方法
3. まちづくりとスポーツ
4. 釧路のスポーツ振興
5. 新クラブのモデル提案

1.研究の目的と問題の所在

【研究の目的】

釧路の地域特性を活かした、
総合型地域スポーツクラブのモデルを提案。

【問題の所在】

平成27年10月 釧路市まちづくり基本条例が施行。
まちづくりに対する地域住民の意識が希薄。
まちづくりに情熱的な市民育成は全国の課題¹。
スポーツはまちづくりに貢献する可能性が大きい²。

2.研究の方法

- ①「まちづくり」, 「総合型地域スポーツクラブ」
「スポーツによるまちづくり」に関する先行研究の分析。
- ②地域とスポーツの関わりについて,
総合型地域スポーツクラブに注目して考察。
- ③発表者が少年団指導の中で得た情報や保護者の声から
釧路のスポーツが抱える課題について考察。
- ④釧路の地域特性に応じた
総合型地域スポーツクラブのモデルを提案。

釧路の地域特性

- i) 「氷都くしろ」の盛んなスケート競技
- ii) まちづくりや教育に専門的知見を有する人材が豊富

i)「氷都くしろ」の盛んなスケート

<スピードスケート>

- ・東北北海道スピードスケート競技会 市町村別対抗 釧路市優勝
(2015, 2016年の2大会連続)
- ・中学校・高校での全国大会で入賞者多数。
- ・白幡圭司, 岡崎朋美らを輩出。
→特に白幡氏は, 教育大釧路校での特別講義や小学校への
出前授業などを行い, 競技普及および後継者育成に尽力。

<アイスホッケー>

- ・全国中学校アイスホッケー競技会 優勝20回(全34回)
- ・全国高校アイスホッケー競技会3位以内 44回(全63回)
- ・クレインズ 全日本選手権 優勝6回, アジアリーグ優勝4回

ii) 専門的知見を有する人材が豊富

また、

【釧路公立大学】や【北海道教育大学釧路校】
【釧路短期大学】などの高等教育機関がある。

地域やまちづくりに関しては公立大学、
スポーツや運動の指導では教育大学と短期大学が専門。
→各分野で専門的な知見をもった人材が豊富

地域や学校教育のフィールドでの
さまざまな活動に貢献。

3.まちづくりとスポーツ

近年、地域について語られる際に
「まちづくり」はキーワード。

「する」「観る」「支える」というスポーツの
特性がまちづくりにフィットする³。

<まちづくりと観るスポーツ>

国際スポーツイベントや国内プロスポーツリーグ、
地域のスポーツ大会などの観戦。



<まちづくりと支えるスポーツ>

地域で開催されるスポーツイベントなどにおいて、
地域住民・企業・行政などが
人的・物的・金銭的、あるいは情報などの支援。

総合型地域スポーツクラブの特徴

①多種目

複数の種目が用意されていて、自分の好きな種目を選んで楽しむことができる。

②多世代

子どもから高齢者まで、年齢や性別に関係なくだれもが楽しむことができる。

③多様性

初心者から競技者まで、どんなレベルの人でも指導を受けることができる。

まちづくりとスポーツに関する研究

まちづくりと「観る」スポーツ, 「支える」スポーツについては, 多くの先行研究がある⁴。

しかし, 「する」スポーツとの関係については発展途上。

近年, まちづくりと「する」スポーツの研究対象として, **総合型地域スポーツクラブ** が注目されている。

なぜなら……

まちづくりとスポーツの関係について論じるには,

経済的効果だけでなく**社会的効果**に着目することが重要。

スポーツ活動による地域への効果

社会的 効果	地域コミュニティ形成効果	地域住民の連携, 住民・企業・行政の連携, 住民側の連帯感の高揚, 地域住民組織の形成などの効果がある。
	地域アイデンティティ形成効果	住民の地域に関する帰属意識の高揚(おらが村意識), スポーツの地域におけるシンボル化, 情報発信による知名度・イメージの高まりなどの効果がある。
	他地域の交流促進効果	国内の他地域や海外との交流が促進される効果がある。
	人材育成効果	スポーツ競技者, スポーツ指導者, ボランティア, 地域活動のリーダーなどの人材育成効果がある。
経済的 効果	施設・基盤・都市環境などの整備効果	スポーツ施設および周辺の公園, 施設までのアクセス道路・交通機関, 街並みの景観などの整備効果がある。さらに, これらによる経済効果がある。
	経済・産業振興効果	スポーツをシンボル化したキャラクターグッズや観光土産品の製造・販売, 来訪者の増加による既存観光産業を振興する効果もある。また, そのスポーツの普及により, スポーツ用品などの製造・販売促進につながる。さらにイベントの入場料収入や飲食などの直接的な経済効果や雇用促進効果も見られる。

(国土庁(1995)をもとに発表者加工)

地域コミュニティ形成効果

地域住民の連携，住民・企業・行政の連携，住民側の連帯感の高揚，地域住民組織の形成などの効果がある。

まちづくりでは地域の課題解決に向けた社会ネットワークに自発的に参加したくなるようなしくみづくりが重要⁵。

総合型地域スポーツクラブは，そのしくみとして
ソーシャル・キャピタルの醸成に有効である⁶。

では，釧路において総合型地域スポーツクラブは
どれほど普及しているのか？

4. 釧路の総合型地域スポーツクラブ

市民推進組織

釧路市体育協会

釧路市スポーツ少年団

競技団体

単位団体

各地域スポーツ推進協議会

釧路市地域スポーツリーダー

釧路市地域スポーツリーダー競技会

釧路市スポーツ指導団体
(リーダーバンク)

(釧路市HPをもとに発表者作成)

スポーツ都市宣言

スポーツ都市づくり

釧路市教育委員会

各種スポーツ競技実行委員会

※総合型地域スポーツクラブは各地域スポーツ推進協議会の管轄

クラブ普及率

全国平均 80.8 %

北海道 62.6 %

(市のみ 85.7 %, 町村のみ **56.9** %)

(平成27年7月文部科学省調査)

【釧路】

8市町村のうち, 6市町に総合型地域スポーツクラブ

(市:100 %, 町: 約 **70** %)

→道内ではクラブの普及が進んでいる地域⁷

総合型地域スポーツクラブの展望

体育以外のスポーツ活動は地域のスポーツクラブの役割⁸へ。
その展開によって、生涯スポーツが発展していく。

これまで、スポーツを中心とした運動に対して、
学校教育・健康啓発・各種競技が分立。

しかし、これらは相互に作用することで、
生涯スポーツやまちづくりなどへの効果をより高められる。

総合型地域スポーツクラブが目指すべき役割は、
3分野が専門的な知見に基づいて連携するためのしくみ

分立から相互作用へ

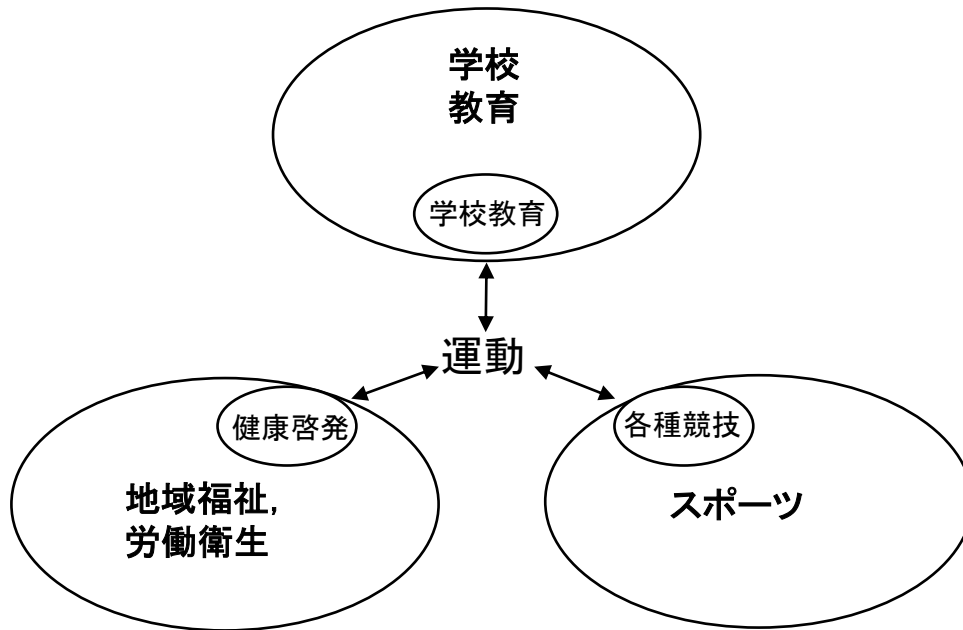


図1 運動の概念
(木田ら(2007)をもとに発表者作成)

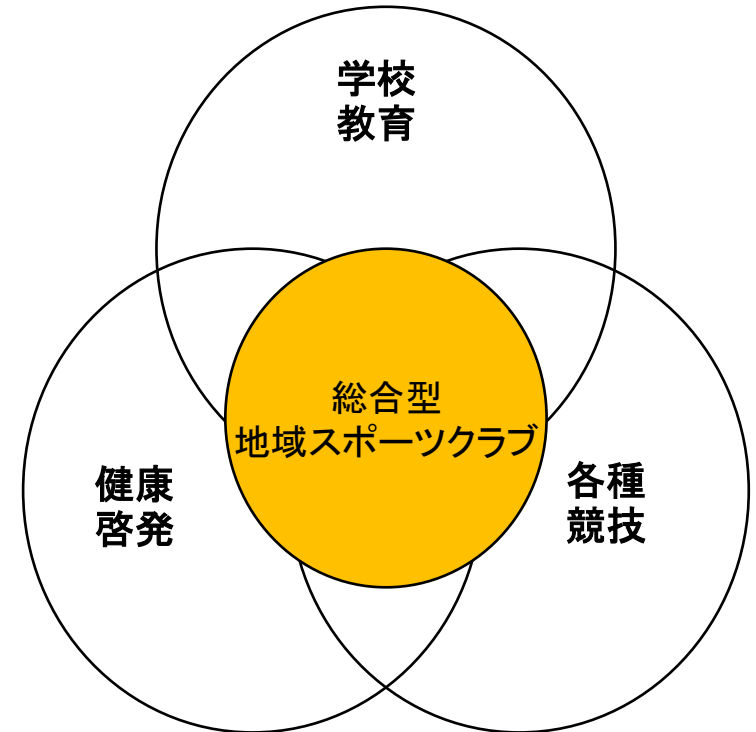


図2 しくみとしての総合型地域スポーツクラブ
(発表者作成)

しくみとして何が必要か

しくみとして必要なのは、**各分野で専門的知見をもつ人材**。

たとえば…

クラブ運営やまちづくりなどについては【公立大学】、
実践指導や学校への派遣、障害者スポーツとの
連携については【教育大学】と【短期大学】 など。

専門的な知見をもった人材が豊富な釧路には、
総合型地域スポーツクラブによるまちづくりに可能性

では、本研究で視点とした釧路におけるスケートの現状は？

釧路におけるスピードスケートの現状

スピードスケートでは、高度な競技化により
スポーツが本来もつ「プレイ性」が失われつつある。

→生涯スポーツとしての視点が必要

<学校教員や少年団の保護者からの指摘>

- ①チーム意識が強く、内向的な風潮。
- ②児童・生徒以外の参加が少ない。
- ③練習日数が多い(週5, 6日)。

しかし、これらは他競技でも共通の問題とされている⁹。

4. サマースクールに期待していることについて

Q1.スケートの滑走技術について、サマースクールを通じてお子さんにどのような上達を期待していますか。(例:直線を入れずにコーナーを曲がり切れるようになる など)

Q2.生活面では、サマースクールを通じてお子さんにどのような成長を期待していますか。(例:他校の友達と仲良く練習ができる,元氣よく挨拶ができる など)

○ご意見・ご要望等があれば、ご自由にお書きください。

【アンケート】

<目的>

参加児童の運動・生活習慣及び、**保護者の運動状況や親子での運動に対する意識調査。**

<対象>

釧路スケート連盟主催スケート教室(サマースクール)に参加した児童の保護者。

<方法>

質問紙による調査。
配布17名・有効回答数13
(2016年6月実施)

アンケート結果

No.	性別	保護者のスポーツ参加の有無	親子で運動する機会の有無	親子で運動することへの意思
1	女	有り	3	3
2	女	無し	1	3
3	女	無し	3	4
4	女	無し	1	3
5	女	無し	3	4
6	女	有り	3	4
7	女	無し	3	3
8	女	無し	1	2
9	女	無し	3	3
10	男	無し	3	3
11	女	無し	1	3
12	男	無し	3	4
13	女	有り	2	3
——		参加率 23%	平均値 2.30	平均値 3.23 20

親子で運動することへの意識

・「親子で一緒に運動することはありますか」

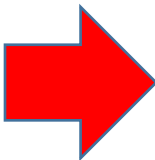
よくある0名,たまにある8名,あまりない1名,ほとんどない4名

・・・平均 **2.30** /4.00

・「親子で運動したいと思うことはありますか」

よくある4名,たまにある8名,あまりない1名,ほとんどない0名

・・・平均 **3.23** /4.00

 保護者は子どもと運動を行いたいという意識があるものの,実際に運動を行う機会は少ない。

少年団活動における現場の声

<保護者の声>

なかなか子どもたちと運動をする機会がない。

→一緒に運動するきっかけがない。

<子どもの声> (冬季しか運動をしていない子ども)

なにか他のスポーツをしたいが、どの少年団も競技志向が強く、加入することに不安がある。

⇒いずれも運動をしたいという意欲はあるが、適切な機会がないことが要因の一つと考えられる。

保護者が期待する生活面での成長

2.生活面で成長を期待していること

i. あいさつ

①いつも挨拶の声が小さいのでもっと大きな声を出してごらんと私も言っているのですが、なかなか恥ずかしいと思うのか声が出ていないので、人に言われなくても自分で大きな声であいさつができるようになれば……と思っています。

②挨拶がしっかりできる。

③友達、コーチ方にしっかり挨拶をすること。

④自然にできる挨拶。

⑤自らしっかりした挨拶ができるようになってほしい。

ii. 集団の中での判断力

⑥集団行動での協調性。

⑦集団行動のマナー。

⑧状況に応じて、自己判断できる力。

⑨集団行動のなかでの判断力。

iii. ともだち

⑩他校の友達をつくる。

⑪たくさんさんの友達と交流ができるようになる。

⑫他校の子と触れ合う。

⑬自分に自信を持つこと。

⑭友達やライバルがいること、率先して行動できるようになること。

iv. 精神面

⑮目標に向かって頑張ること。

⑯仲良しでも闘争心をもち、上へ上へと目指してくれることを期待しています。

⑰集中力UP。

⑱他者への思いやり。

v. その他

⑲スケートの楽しさを実感する。

⑳コーチや他の保護者、自分と違う年の子に接して視野を広げることができるようになればいいかな……と。

㉑持ち物を大切にすること。

㉒好きで参加しているサマースクールです。家を出る時間がわかっているので、それに合わせた準備ができるようになるといいなと思います。

自由記述で設定した「生活面で成長を期待すること」で得た回答を次の5つに分類した。
()は回答数。

i) あいさつ (5)

ii) 集団の中での判断力 (4)

iii) 友だち (6)

iv) 精神力 (4)

v) その他 (4)

保護者は、他の学校の子どもとの交流を通じて**子どもの社会性が向上することを望んでいる。**

→ソーシャル・キャピタルの基礎

求められるクラブ像

これからのクラブ活動に求められるのは、

さまざまな人や団体の交流によって、
他者への信頼やネットワークなどの
ソーシャル・キャピタルを醸成するためのしくみ

このクラブ像を意識して、
総合型地域スポーツクラブのモデルを提案を行います。

5.モデル提案

釧路の地域特性

- ①「氷都くしろ」の盛んなスケート
- ②まちづくりや教育に専門的知見を有する人材が豊富

釧路には「まちづくり」と「スポーツ」の両方に対して、すでにさまざまな取り組みが行われている。

それゆえ、求められるのは新たな取り組みの提案ではなく、既存の取り組みによる成果をどのようにして高めていくか。

その「しくみ」として、総合型地域スポーツクラブのモデルを提案する。

提案するモデルの特徴

①クラブ活動の対象に、「障害者」を明確に位置づけ。


②クラブの活動種目に冬季スポーツを設定。

→スケートだけではなく、氷上や雪上の遊びを位置づける。

③大学や釧路市のスポーツ指導団体(リーダーバンク)と協力し、クラブ活動の充実を図る。

④スケート関連事業を企画し、各種イベントやスケート教室、有資格者による出前授業などの普及活動を行う。

○スケートの活動を取り入れさまざまな団体と積極的な連携を図る。

 地域住民が主体的に行う釧路ならではのスポーツ活動

総合型地域スポーツクラブのモデル図

総合型地域スポーツクラブ

運営推進委員会
(クラブ会員代表, 指導者)

ボランティア指導者

有資格指導者(種目別指導者)

ニュースポーツ¹⁰を含む
さまざまなスポーツ活動

冬季
スポーツ

青少年
成人
高齢者
障害者

←相互交流→

健康体力相談事業

各種スポーツ教室

イベント事業

スケート関連事業

学校開放施設

公共スポーツ施設

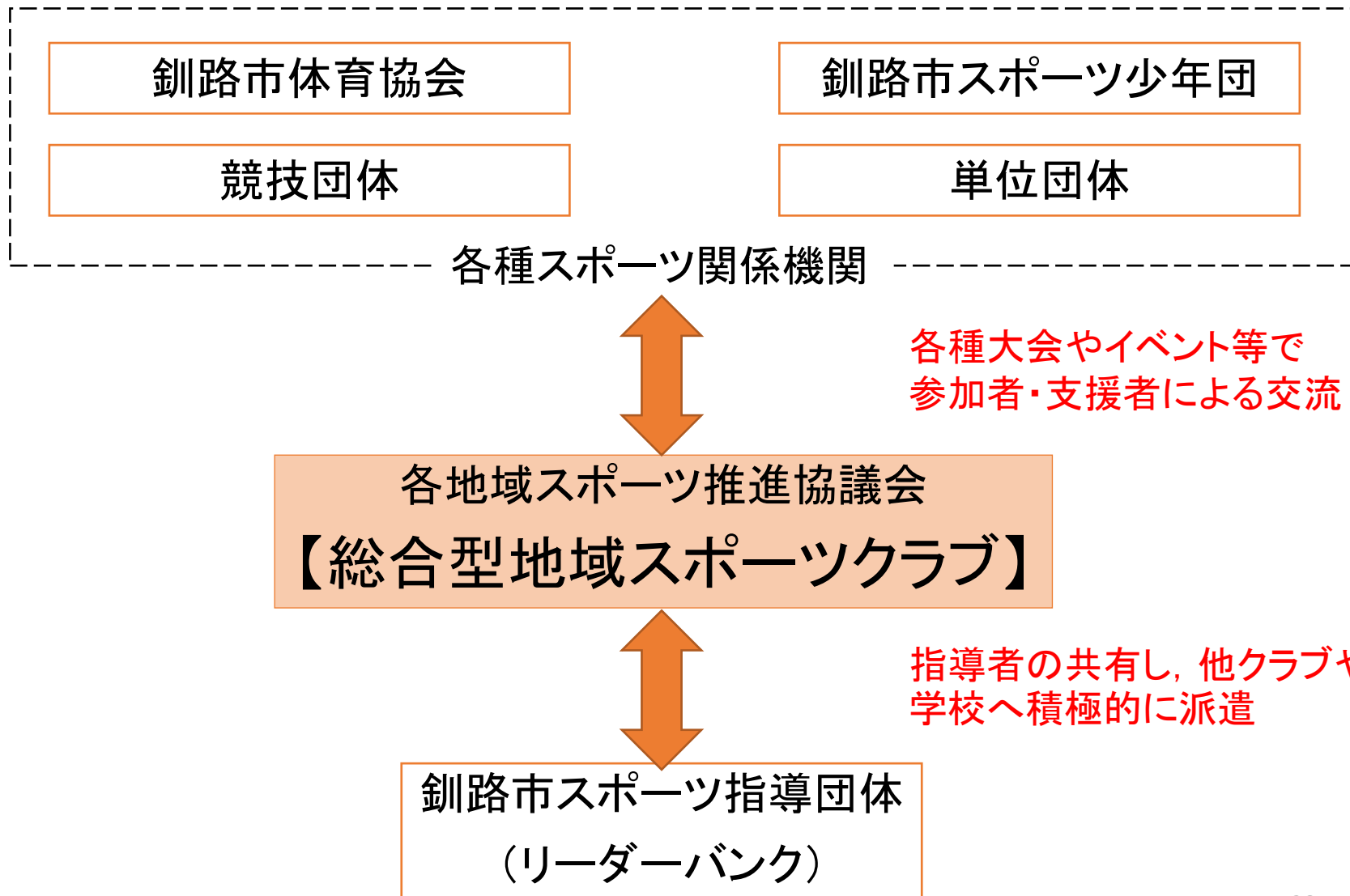
参加

地域住民

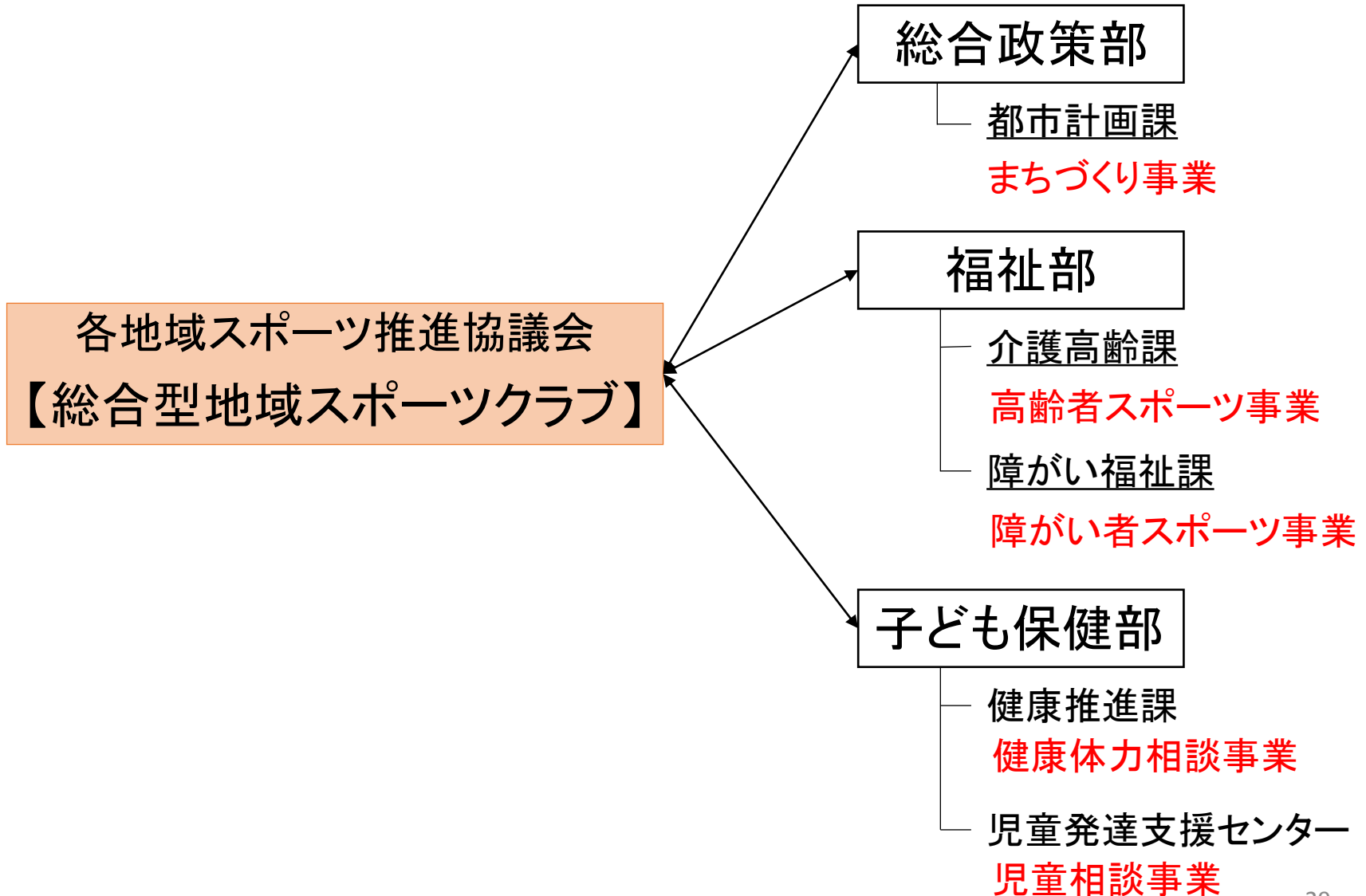
支援

釧路市教育委員会・高等教育機関
スポーツ関係団体等

提案モデルによる連携（教育委員会内）



提案モデルによる連携（他部門）



今後の展望

- ①障害者スポーツや生涯スポーツに関する団体の取り組みを調査し、クラブとのより具体的な連携について考察する。
- ②指導に携わっているスピードスケート少年団で口頭調査を実施し、保護者はまちづくりやスポーツ活動にどのような意識を持っているのか調査する。

(註)

- 1 宮良ら(2013)は、スポーツとまちづくりの研究課題を整理する中で、地域形成に対する地域住民の主体性が弱いことを指摘している。
- 2 堀ら(2007)は、まちづくりのテーマの一つにスポーツが重要な一を占める理由として、①スポーツが健康と結びついている、②スポーツの普遍性の高さ、③スポーツが「する」だけでなく「観る」ことも楽しめる、の3点を挙げている。
- 3 堀ら(2007:16)より引用。
- 4 木田ら(2013)は、日本におけるスポーツイベントの効果に関する研究について、経済的効果にその視点が寄りがちで、それ以外の効果に対する考慮が少なかったことを指摘している。
- 5 スポーツによる社会的効果に関する研究については、国土庁(1995)や佐伯(2000)、木田ら(2006)、堀ら(2007)などがあるのみである。

- 6 パットナム(2006)は、ソーシャルキャピタルを個人間のつながりといった社会的ネットワークおよび、そこから生じる互酬性と信頼性の規範と定義づけている。
- 7 釧路市では8クラブ、釧路管内の町では5クラブが設立されている(平成27年7月 日本体育協会調査)。
- 8 平成27年度の中央教育の答申において、部活動等の指導・助言や各部活動の指導、顧問、単独での引率等を行うことを職務とする職員を部活動指導員(仮称)の設置が検討されている。この部活動指導員には、指導技術に加え、学校全体や各部の活動の目標や方針、生徒の発達段階に応じた科学的な指導等について理解させるとしている。
- 9 昨年度のスポーツ少年団認定指導員でのワークショップにおいて、各種競技でも、過度な競技性や勝利至上主義、競技人口の減少などが問題として挙げられた。
- 10 ニュースポーツとは、20世紀後半にアメリカで新しく紹介・考案されたスポーツ群を意味する。日本では、軽スポーツやレクリエーションスポーツとも呼ばれる。

【参考文献】

- 釧路市HP <http://www.city.kushiro.lg.jp/index.html> (2016年11月25日確認。)
- 文部科学省(2016):平成27年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査。
- 国土庁(1995):スポーツを核とした地域活性化に関する調査-スポーツフロンティアシティ21-, 日本システム開発研究所。
- 川上光彦(1994):まちづくりの戦略, 山海堂。
- 木田悟・小嶋勝衛・岩住希能(2006):サッカーワールドカップ大会における社会的効果に関する考察, 日本建奨学会技術報告集第23号, pp427-432。
- 木田悟・高橋義雄・藤口光紀(2013):スポーツで地域を拓く, 東京大学出版会。
- 堀繁, 木田悟, 薄井充裕(2007):スポーツで地域をつくる, 東京大学出版会。
- 佐伯聰夫編著(2007):スポーツイベントの展開と地域社会形成, 不昧堂出版。
- 菅美幸(2008):総合型地域スポーツクラブの持続的発展に向けた育成支援に関する研究-新潟県の事例から-, 現代社会文化研究, No.43, pp143-160。
- 菅原禮(1984):スポーツ社会学の基礎理論, 不昧堂出版。
- 高村秀史(2014):地域と連携した総合型地域スポーツクラブにおける学生参画型プログラムの取り組み, 福祉大学全学教育センター紀要, 第2号, pp87-97。

- 長積仁・榎本悟・松田陽一(2006):スポーツ振興とソーシャル・キャピタルの相互補完的關係, 徳島大学総合学部 人間科学研究, 第14巻, pp.9-14.
- 長積仁・富山浩三・松永敬子(1999):まちづくりとしての総合型地域スポーツクラブの役割, 徳島大学総合科学部 人間科学研究, 第7巻, pp.37-47。
- パットナム・D・ロバート(2006):孤独なボウリング, 柏書房。
- 前田雅文, 前川勝秀(2009):総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団の連携に関する研究, 鳴子教育大学研究紀要, 第24巻, pp184-190。
- 松田雅彦(2012):「新しい公共」とスポーツ, 関西学院大学人間福祉学研究, 第5巻, pp.51-59。
- 宮良俊行, 小島大輔(2013):「スポーツによるまちづくり」に関する研究課題の整理, 長崎国際大学論叢, 第13巻, pp11-20。